

2012-B					
拠出金・基金の名称:		アフリカ稲センター (AfricaRice) 拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 国際農業研究協議グループ (CGIAR) / アフリカ稲センター (Africa Rice)					
【所管官庁担当局課・室名】: 農林水産省大臣官房国際部国際協力課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 ・アフリカ内陸低湿地における持続的稲作技術実証・普及事業 西アフリカの内陸低湿地を対象とし、農民参加型の持続可能な稲作生産体系技術を実証・普及する事業を実施。 ・アフリカ食料安全保障情報整備支援事業 CARD支援対象国を対象とし、コメを中心とする農業統計を改善するための事業を実施。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率 (%)
平成24年度	74,030	914	-	1米ドル = 81円	100
平成23年度	56,535	635	-	1米ドル = 89円	100
平成22年度	62,170	661	-	1米ドル = 94円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 ・アフリカ内陸低湿地における持続的稲作技術実証・普及事業 西アフリカの内陸低湿地を対象として、農民参加型の持続可能な稲作生産体系技術の実証・普及を通じて、中長期的生産性向上を支援するものである。 平成24年度には西アフリカの2ヶ国、合計12ヶ所の実証圃場を設置し、実証試験や農民等を対象とした研修を実施しており事業計画や目標の着実な達成が期待できることから、我が国として高く評価できる。 ・アフリカ食料安全保障情報整備支援事業 CARD支援対象国のコメを中心とする農業統計整備を支援し、CARDの取組の効果を測る体制を確立するものである。 平成24年度にはCARDの中でもコメの生産量が上位の国3カ国をパイロット国として選定し、改善された調査手法に関する研修を実施しており、事業計画や目標の着実な達成が期待できることから、我が国として評価できる。 なお、アフリカ稲センターには、邦人研究者が理事として参画するとともに、我が国が理事国として関与する国際農業研究機関協議グループ (CGIAR) の1機関として、合理化、機能強化のための改革を進めている。					